

JAPANESE



現代のノーベル賞受賞者を見てみると、賞が設立されてから受賞者は800人にも達しますが、そのなかにムスリムは7人しかいません。どうしてこのようなことが起きたのかと幾人かの人達は疑問に思うことでしょう。最初にイスラームの使徒に下されたクルアーンは「読め」という御言葉であり、それは知識、教育、知的発見へとはっきり呼びかけるものであり、世界を創造し統制するお方を認識することへと先導するものだからです！

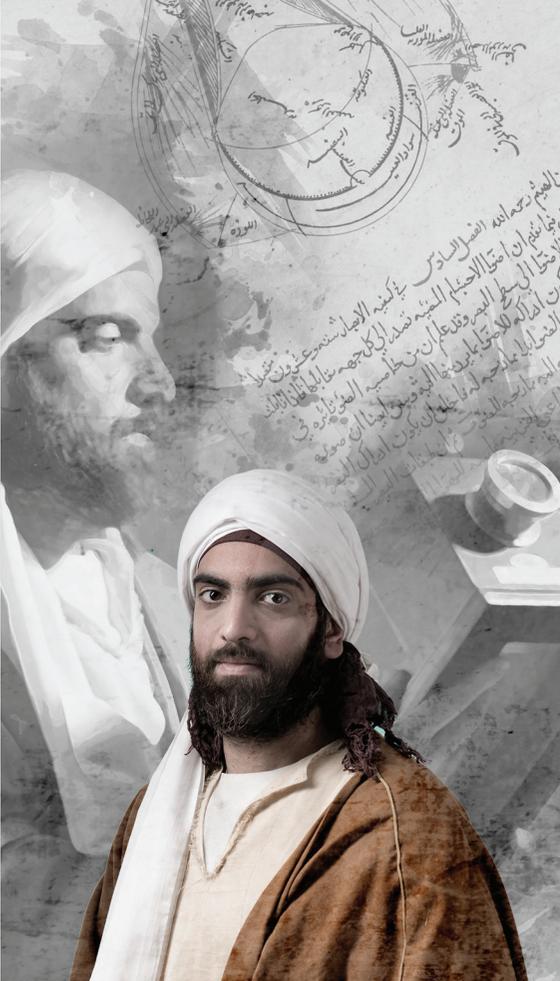
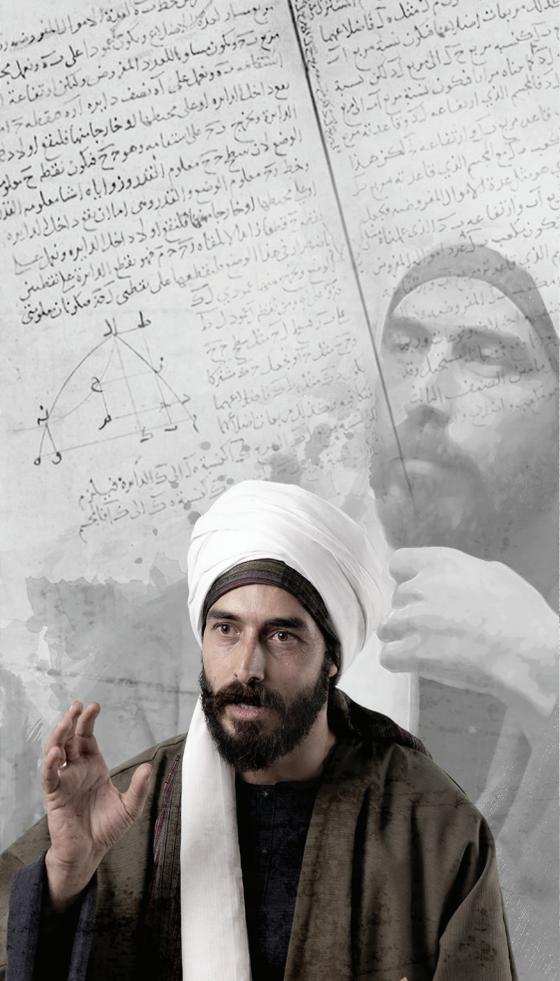
西暦
1130年のノーベル賞
に相応しいのは

800年以上もの間(西暦630年から1430年)、イスラーム文明は世界を支配しました。アラビア語を共通語とするイスラーム世界は、学問研究において随一でした。イスラーム黄金期と呼ばれる時代には学問の発展において最盛期を迎え、医学や天文学、数学、工学などの専門分野に熟練した数多くの学者たちを生み出しました。彼らから知識を学ぼうと世界各地から学生たちが目指してやってきました。二人の学者、イブン・スナーナーとハワーリズミーの著作、それ以外の天才的学者たちがそうであったように、彼らの著作や論考は世界の数多くの大学で教科書として学び続けられました。彼らの著作はフランスの由緒ある学び舎ソロボン大学で1920年代まで教えられていたのです。



LAUNCHING
CURIOSITY
JUST SCAN IT!!





イブン・ナフィース ダマスカ

イスラーム法学者であったと同時に、医学や解剖学においても歴史上最も偉大な学者のひとりです。最初に正確に血液循環を発見し説明した人で、イブン・ナフィースは人体解剖学の先駆者の一人とみなされており、現在に至るまで学者たちが拠り所とする理論を確立しました。

(西暦1213—1288)

ハワーリズムー バグダード

数学者、工学者、天文学者です。彼の著作は他の文化圏へ早い段階で翻訳されました。そればかりかアラビア語の用語がラテン語に流入する要因となり、たとえば代数学(アルジェブラ)、アルゴリズム、ゼロなどがそうです。ハワーリズムーは代数学の祖ともされており、地理や天文学などに関する多くの書物を著しました。

(西暦790—850年)

マルヤム・アストゥルラービヤ

イスラーム教徒の女性で天文学者で、昔の天体観測器アストラーベを改良しました。現在のコンパスや人口衛星の基礎であり、それを通して太陽の高度測定、昼夜の時刻の測定もできます。アストラーベは中世の天文学者にとって懐中時計として使われていたのです。

(アレッポ、10世紀頃)

イブン・ハイサム カイロ

イブン・ハイサムは物理学者、工学者で、エジプトのアズハルモスクとも関係のある人物です。光学に多大な貢献をし、カメラ発明の基礎は彼に由来するとされます。最初に目全体を解剖し、そのさまざまな部位の役割を明らかにし、視覚が精神に与える数多くの効果や影響についてはじめて研究した人物で、光学の祖とみなされています。

(西暦965—1040年)